



学術会議任命拒否撤回を求め官邸前抗議を 呼びかけた田原ちひろさん（17）

昨年11月末、菅首相による日本学術会議会員の任命拒否に抗議する、官邸前行動を呼びかけました。

「学問や言論の自由がなくなれば、学びたいことが学べなくなります。進路を決める高校生の生き方にかかわってくる。18歳で選挙権をもつ周りの高校生にも、政治に無関心でいられないことを訴えたかった」

行動前、通っている都内の私立高校門前でビラを配りました。「SNSなどで知り、任命拒否に疑問をもっている高校生が多いことに驚きました」

19年8月から20年2月まで毎月、JR原宿駅前ですべての国に核兵器禁止条約に入るよう求めるヒバクシャ国際署名にとりくみました。5000人から集めて、条約に参加しない理由を外務省に聞きに行きました。委員長を務める東京高校生平和ゼミナール（平ゼミ）の仲間と動きました。

昨年9月には、高校の中庭で署名を集めました。許可をとりに校長室に行く、「全力で応援する」と励まされ、当日は校長先生が横断幕を持ち応援。117人が署名してくれました。その時に話した生徒と、学内で平和サークルをつくろうと計画中。「条約の批准を求める新しい署名を多くの高校生の力で集めたい」との思いからです。

3月には福島県で高校生平和集会を予定しています。大事にしている言葉は「がんばるときはいつも今」。「週3日のバドミントン部と週末の平ゼミが、ちょうどいいバランスです」

文・写真 染矢 ゆう子